

# 参考図書を使いこなそう

～調べるヒント、ここにあり！～

## 1. 参考図書とは

- ・基本的に、最初から最後まで読んで内容を知るというものではありません
- ・必要な事を調べるために、ピンポイントで使うことができます
- ・図書館では、図書館内で利用できるようになっていることが多いです

## 2. 参考図書の種類

参考図書には様々な種類があります。レポートなどのテーマ決めには事典、特に百科事典が便利！ 分類記号031の棚を探してみてください。

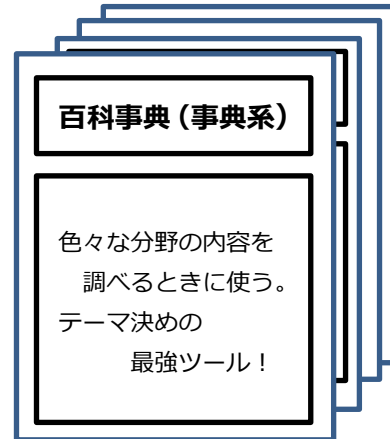
また、あなたが探した言葉では載ってなくても、違う言い方で載っているかもしれません。「索引」から探してみると見つかるかもしれませんよ。

(1) 事典…事柄の解説。「ことてん」

例：百科事典、各専門事典、など

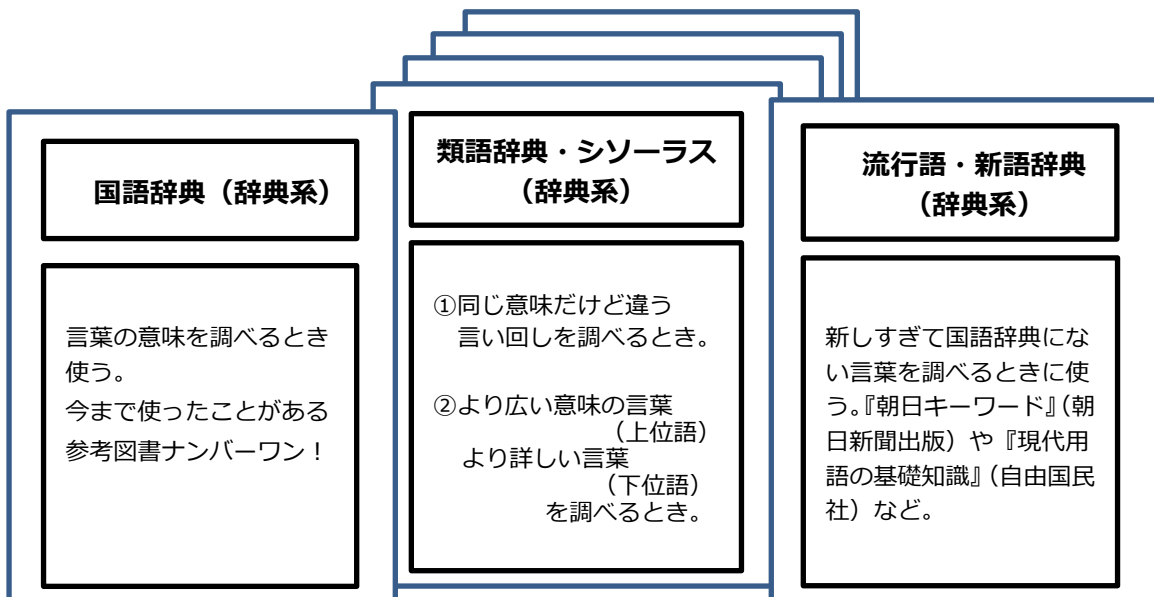
『ポプラディア』(ポプラ社)

『世界大百科事典』(平凡社)



(2) 辞典…読み方・意味・語源・用例の解説。辞書。「ことばてん」

例：国語辞典、英和辞典、古語辞典、類語辞典、流行語辞典、等



その他にも…

- (3) 年鑑…1年間の事件・統計などをまとめて、1年に1回発行されるもの  
例：『世界年鑑』（共同通信社）
- (4) 図鑑…ある分野のものをひろく集め、系統的に図や写真を用いて説明したもの  
例：動物図鑑、植物図鑑、など
- (5) 地図帳…地域の状態を平面上に縮尺して描いたもの  
例：日本地図、世界地図、など
- (6) 白書…主に政府の各府省が、ある分野の現状の分析や見通しを報告したもの  
例：『エネルギー白書』（経済産業省）、『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』（環境省総合環境政策局環境計画課他編）、『外交青書』（外務省編）、など

### 『白書の白書』（木本書店）

政府の各府省が発行している41の白書を簡単に紹介するとともに、白書に掲載されている主なデータもあります。「どんな白書があるのか？」と思った時は、見てみるといいでしょう。

- (7) 統計…特定の性質を持つものの数や割合を、数字やグラフで表したもの  
例：『世界国勢図会』（矢野恒太記念会編）、『日本国勢図会』（矢野恒太記念会編）、など

### 『日本国勢図会』（矢野恒太記念会）

### 『世界国勢図会』（矢野恒太記念会）

日本で有名な統計書です。  
あらゆる分野の統計が掲載されて、毎年発行されています。

### 『データブック オブ・ザ・ワールド』（二宮書店）

世界の統計と共に、世界各地の要覧（気候や国の現況、産業など）が掲載されています。毎年発行されています。



資料の場所を知りたい人は、蔵書検索を試みましょう。  
もちろん、司書に聞いてみるのもいいですよ。